

消防団長紹介

寝屋川市消防団 団長 中谷 峰男



寝屋川市は、大阪府の東北部、淀川左岸（上流から下流を見て左側）に位置し、大阪市域の中心から 15km、京都市域の中心から 35km の距離にあります。南北は、7.22km、東西は 6.89 km に広がり、面積は 24.70 km² になります。

明治 22 年に町村制が施行され、市域に茨田郡九箇荘村・友呂岐村、讃良郡豊野村・寝屋川村、交野郡水本村が成立しました。

明治 29 年に、各郡は北河内郡になり、昭和 18 年 4 月には九箇荘町・友呂岐村・豊野村・寝屋川村が合併して寝屋川町になりました。

昭和 26 年に市制が施行されて寝屋川市が誕生し、昭和 36 年には水本村と合併、続いて昭和 41 年に一部が大東市に編入され、現在の市域になりました。

寝屋川市消防団の歴史は、昭和 22 年 5 月に消防団（315 名）が結成され、昭和 26 年に、市政施行に伴い寝屋川市消防団となりました。その後、昭和 36 年に、水本村と合併後消防団編入定員 425 名となりました。

また、昭和 41 年 4 月に消防団組織を改正し、定員 435 名となり現在に至ります。

活動状況としましては、年間を通して放水訓練や新任団員教育訓練等の訓練を行うだけでなく、防災訓練指導や各種祭りの警備、歳末警戒等の業務以外に、男女を問わず新たに令和 3 年度よりエンジンカッターやチェーンソーの救助資機材の習熟訓練を導入し、市民指導に繋げる体制を構築しています。

私は平成 5 年 4 月 1 日に団員を拝命、平成 27 年から副分団長、分団長を歴任し、平成 31 年 4 月 1 日からは副団長、令和 3 年 4 月 1 日から団長を務めています。

学生時代から車の構造等に興味があり、社会人としても車関係一途の仕事に取り組んできました。そのために、養ってきた車の構造知識を生かし、消防団員拝命依頼、車や可搬ポンプ取り扱いなどで大変重宝がられ、今でも懐かしく思い出されます。

また、現在でも心身ともに健康で生活できることに感謝し、常に寝屋川市・地域の繋がりを第一に考え、色々な人に気さくに声掛けをするなど、団長として地域の重鎮として頑張っています。

私が入団した当時は、一日の火災件数や炎上火災が多い時代でした。

その中でも、大晦日の地元での建物火災に出動したときは、作業中に元旦を迎え、昇ってきた初日の出に対し心の中で無病息災の願いに手を合わせたことを、今でも 良く覚えています。

それから現在に至るまでの常備消防の消防力の充実が進み、防災設備などもスピード感のある発展がなされ、火災等も大きな減少となり、消防団活動も後方支援が主となる時代になりました。

しかし、消防団の持つべき心は、何時の時代も「安全で安心して暮らせる街」を目指すことです。

班長経験をすることなく副分団長から、いつの間にか寝屋川市消防団長の大役を担うこととなりました。

しかし、寝屋川市を守り、消防団を思う心は誰にも負けることはありません。

「団員との絆をモットーにやってくる」

こういった関係性をこれからも築いていき、大災害時に於いては、連携をもった活動を行うことで、被害軽減の任務を果たせると考えています。